

# WHO ファクトシート

## D 型肝炎

Hepatitis D

2018 年 7 月 23 日

### 重要な事実

- ・D 型肝炎ウイルス (HDV) は、増殖のため B 型肝炎ウイルス (HBV) を必要とするウイルスである。HDV は、HBV と同時期にのみ感染するのであって、それを重複感染ともいう。
- ・このウイルスは、感染者の血液や体液との接触によって感染する。
- ・母親から子どもへの垂直感染は稀である。
- ・慢性 HBV 感染者の少なくとも 5 % は、HDV と同時感染しており、その結果、世界中で HDV 感染者は合計 1500～2000 万人にのぼる。しかし、これは、多くの国では HDV の有病率を報告していないため、世界に拡大させた推計でしかない。
- ・世界中で、1980 年代以降 HDV 感染の総数は減少している。この傾向は主に HBV ワクチン接種プログラムが成功したことによるものである。
- ・HDV と HBV の同時感染は、肝臓関連の死亡や肝細胞がんへの進行をより早くさせることで、慢性ウイルス性肝炎の最も重篤な形態と考えられている。
- ・現在、治療の成功率が一般的には低い。
- ・D 型肝炎感染は、B 型肝炎の予防接種により予防することができる。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい (改定前)

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Hepatitis D

ファクトシート原文は [こちら](#)